

- 関係法規
- 都教育目標
- 区教育目標（基本方針）
 - ・人権尊重、社会貢献の精神
 - ・豊かな個性、創造力の伸長
 - ・家庭教育の支援と子供たちの健全育成
 - ・子供に対する一貫した支援
 - ・自然環境の保全と文化遺産の保存・活用・継承

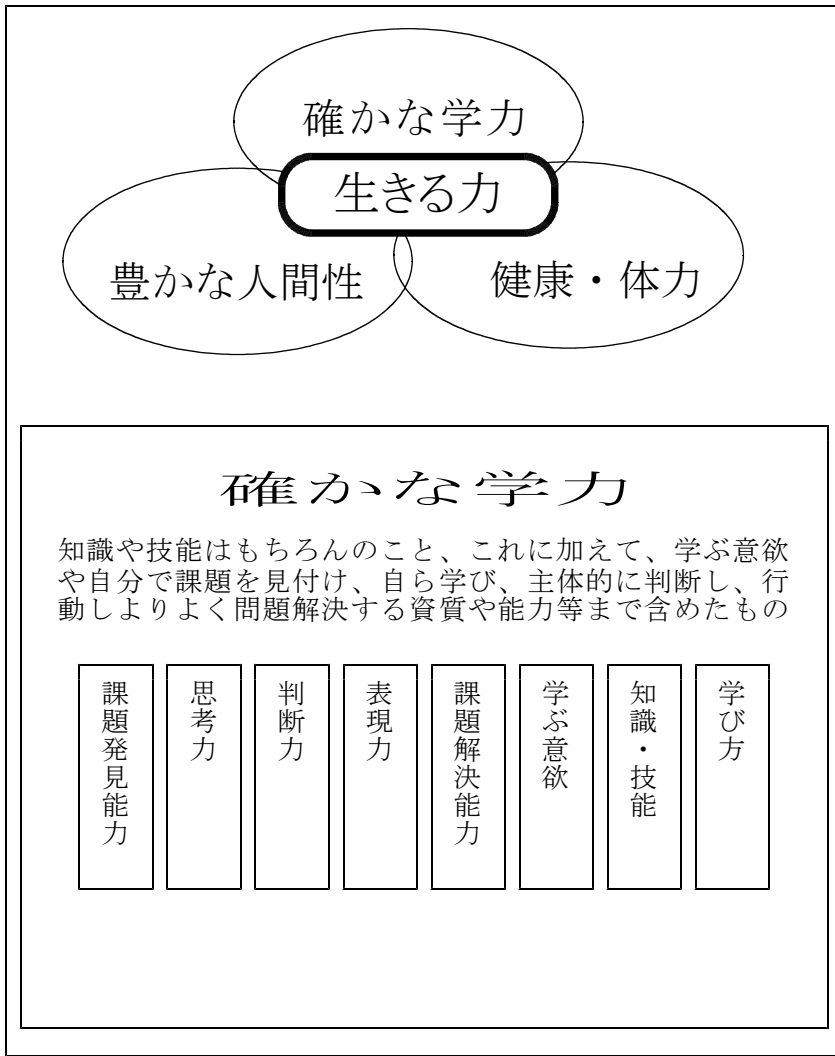
- ### 学校教育目標
- すすんで考え、くふうする子ども
 - あたたかい心もち、人と協力する子ども（重点目標）
 - けんこうで、ねばり強い子ども

- 児童の実態
 - ・明るく素直
 - ・自主的活動や自己表現力が弱い
- 地域・保護者の願い
 - ・確かな学力の定着
 - ・楽しい学校生活や行事
 - ・豊かな人間性
- 期待される児童像
 - ・すすんで物事に取組み、実践できる子
 - ・自他を思いやり、協力できる子
 - ・心身ともに健康に留意できる子

- #### 各教科の指導の重点
- ねらいと指導・評価が一体となった指導
 - 児童の思考を促し課題意識をもたせる発問の工夫
 - 言語活動の充実、コミュニケーション能力の向上
 - 基礎・基本的事項の定着
 - 自己評価力の向上
- #### 総合的な学習の時間の指導の重点
- 主体的に課題を見付け、協働して問題の解決に取り組ませる指導
 - 地域性を生かした指導の充実
- #### 外国語活動・外国語の指導の重点
- 実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能の育成
 - 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力の育成
 - 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- #### 進路指導の指導の重点
- 社会や他者と主体的に関わる力の育成
 - 自己の役割や責任を自覚し、すすんで実行する態度の育成
 - 将来の夢や希望をもち、長所を伸ばしたり、短所を改めたりする意欲の向上

- #### 学校経営方針（学力向上にかかわる要点）
- ・意図的・計画的な学習指導の実施
 - ・言語活動の充実、主体的に学ぶ態度の育成
 - ・基礎・基本の学力の定着

- #### 道徳教育の指導の重点
- 議論し、物事を多面的・多角的に捉える力の育成
 - 道徳的価値についての理解と、それを基にした自己の生き方についての思考
 - 学び合い、自己の振り返りを通しての道徳実践力の育成
- #### 特別活動の指導の重点
- 多様な他者との協働
 - 集団への所属感、自他の尊重
 - 自主的、実践的な態度の育成
 - 指導計画の下、活動の計画、評価・改善
- #### 生活指導の重点
- 危機回避能力の育成
 - 基本的生活習慣の定着
 - 望ましい人間関係の育成
 - 教育相談日の設定、スクールカウンセラ、心のふれあい相談員の活用
 - SCによる5年生の全員個別面談
 - 学校評議員、保護者、地域との連携
 - セーフティ教室・情報モラル講習会の実施
 - 校外における生活指導の充実
 - いじめ根絶への意識化



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ○発問・板書・ノート指導を徹底する。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいと思考の流れが分かる板書を行い、ノート指導につなげる。 ・電子黒板を効果的に活用する。 ・明確で児童の思考を促す発問を意図的に行う。 ○思考力・判断力・表現力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて導入時に既習事項の確認をする。 ・思考し表現する時間を確保する。 ・児童の発想を大切にされた発信の場を設定し、ICTも活用する。 ・検討したり活用したりする活動を取り入れる。 ・授業のねらいに対して児童が自己評価をする時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活科・総合的な学習の時間の全体計画を活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間を弾力的に運用し、調べ学習の時間を確保する。 ・各教科・領域と総合的な学習の時間を関連させた指導を計画し、実施する。 ○朝のモジュールタイムを授業と位置付け、授業時数を確保する。 ・朝のモジュールタイムを国語の漢字や短作文など基礎的な学習に取り組む時間に位置付け、活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究「よりよい人間関係を築く力を高める指導の工夫～様々な教科の指導を通して～」の視点も交えるという観点から兄弟学年的な組み合わせでの分科会を作り、新たな指導法を模索するなど、主体的に研究に取り組めるようにする。 ・目指す児童像を「友達と協働的に学び合い、自分も相手も大切にす児童」とし、昨年度の国語科での研究を基に他教科まで範囲を広げ、年4回の研究授業を行う。 ○授業力向上を目指したミニ研修の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭を中心にミニ研修を企画・実施し、授業に生かせる技能を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表の工夫・改善を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・通知表の所見では、児童の様々な活動を具体的に記述できるように工夫する。 ○評価方法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に即して効果的な評価方法を開発・実践していく。 ・児童の実態を踏まえ、目標を明確にした授業を推進し、評価の結果をその後の指導に生かす。 ○個に応じた指導を徹底する。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業ごとの評価を生かして、補充的な学習や発展的な学習を設定し、個に応じた指導を実践していく。 ・形成的評価を活用した指導を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校関係者評価を生かした授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・校長の学校経営方針に基づく教育活動の充実や教員の資質向上を図る。 ・特色ある学校づくりを進め、児童の実態に即した個性を生かす教育の展開を図る。 ・教育活動全般を見直し、改善・充実を図る。 ○学校・家庭・地域社会が一体となった学校づくりを図る。